

北海道向け 牧草新品種の特性紹介

研究開発本部 北海道研究農場 牧草・飼料作物研究 I グループ 横山 寛

1. チモシー晩生品種「キウス」※

2017年に北海道優良品種に認定されたチモシー晩生品種「キウス」が2023年から販売開始となります。出穂始は「なつさかり※」とほぼ同じで、北海道内で利用されているチモシー品種の中で最も遅いグループに属します。

1) 収量性に優れる

「キウス」は放牧利用での収量性に優れます。図1は道東の3試験場において、放牧を想定した多回刈り試験を実施した際の2か年平均季節別乾物収量を示しています。「キウス」はいずれの季節においても他品種Aよりも多収で、年間合計乾物収量は他品種A比で106%でした。

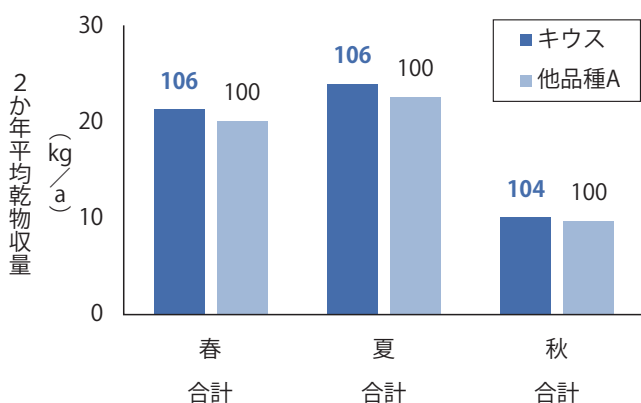


図1 多回刈り・季節別乾物収量 (2015-2016年、道東3試験場)
(図中の数値は他品種Aを100とした値)

2) 分げつ密度が高く、雑草の侵入程度が低い

写真1は酪農試験場（標津郡中標津町）における多回刈り試験3年目の秋の様子です。「キウス」の試験区は、他品種Aの試験区と比較してチモシーの分げつ密度が高く、広葉雑草の侵入程度が少ないことが確認できます。表の通り、4試験地平均の茎数密度と被度調査の結果からも、「キウス」は放牧利用した場合に有利な特性を有していることが確認できます。

また、「キウス」は耐病性についても優れます(表)。



キウス



他品種A

写真1 多回刈り試験3年目秋の状況 (2016年9月13日、酪農試験場：標津郡中標津町)

表 多回刈り試験における茎数密度、被度、罹病程度の調査結果

		キウス	他品種A
茎数密度 ¹⁾	極少1-極多9	5.7	5.3
被度(%) ¹⁾	チモシー	83	77
	雑草	10	15
罹病程度 無または極微1-甚9	斑点病 ²⁾	1.6	2.0
	すじ葉枯病 ³⁾	1.7	2.3

1) 3年目夏季、4場所平均 2) 4場所6調査平均
3) 1場所5調査平均

3) 採草利用でも多収

「キウス」は採草利用した場合でも多収です。2012～2013年に弊社北海道研究農場（夕張郡長沼町）において試験した結果、2か年合計1番草乾物収量は、他品種A比で107%でした。弊社の従来晩生品種「シリウス※」と比較しても、「キウス」は収量性や越冬性

に優れます。チモシーは全道の採草地及び放牧地で利用される基幹草種ですが、「キウス」を利用することで、その生産性の向上が期待できます。

2. アルファルファ「ケレス2」

農林水産省品種登録出願中

海外持出禁止（農林水産大臣公示有）

2023年から販売開始となるアルファルファ新品種「ケレス2」は、「ケレス[※]」の能力をさらに改良した後継品種として育成しました。道内5試験場、2014～2016年において試験を実施した結果、収量性やそばかす病抵抗性に優れる点等が評価され、2017年に北海道優良品種に認定されました。

1) 道東で選抜し越冬性がさらに改良

「ケレス2」は育成過程において、野付郡別海町（2000～2002年）と河西郡芽室町（2006～2009年）にて個体選抜を実施しました。越冬条件の厳しい道東地域において、生育の優れる個体を選抜する操作を重ねた結果、越冬性を改良することができました。2020年は凍害によるダメージが大きい年でしたが、**写真2**の通り、「ケレス2」の冬枯れは軽微で、良好な萌芽が確認されました。

2) 全番草で多収

「ケレス2」は全番草において多収です（**図2**）。特に道東3試験場において多収という結果となっており、収量性においても道東での選抜効果が得られたと考えています。**写真3**は3年目1番草の様子ですが、従来品種「ケレス」よりも「ケレス2」の方が、生育が旺盛であることがわかります。

3) 耐病性が優れる

アルファルファの重要病害の一つであるそばかす病に対して、「ケレス2」は抵抗性に優れます。抵抗性が劣ると、葉が枯れ、収量や越冬性に悪影響を及ぼす可能性があります。**写真4**の通り、既存の2品種と比較して「ケレス2」は罹病程度が軽微で葉の緑度が保たれています。また、バーティシリウム萎ちょう病抵抗性も強いです。

販売開始以来長きに渡りご好評いただいた「ケレス」ですが、その能力をさらに上回る後継品種「ケレス2」が2023年から販売開始となります。ご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

※(PVP) 海外持出禁止（農林水産大臣公示有）



写真2 条播試験3年目の萌芽の様子
(2020年5月8日、野付郡別海町)

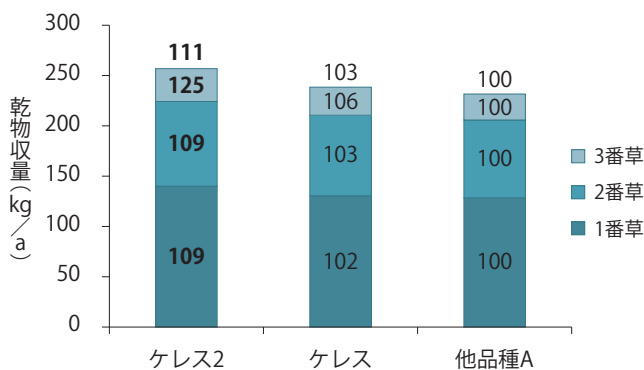


図2 2、3年目合計乾物収量（2015-2016年、道内5試験場平均）
(図中の数値は他品種Aを100とした値)



写真3 3年目の1番草の様子
(2013年6月20日、野付郡別海町)



写真4 品種ごとのそばかす病発生状況
(2015年10月15日、弊社北海道研究農場：夕張郡長沼町)